

## 平成29年度は新しく『高齢者福祉部会』を設置

5月20日北馬城まちづくり協議会総会が開催された。2年目を迎えて、平成29年度は新たに高齢者福祉部会を新設し、高齢化した地域に活力を取り戻すため、元気なものが介助を必要とする人に寄り添い、お年寄りが元気に暮らせるまちづくりを目指す。

基本方針は「お年寄りが元気に暮らせるまちづくり活動」で、活動内容は1. 独居高齢者の助け合い福祉マップを作成して、安否確認のシステムを構築し実践する。2. 独居高齢者の見守りや声かけを定期的を実施する。など、事業計画が採択された。

一方、地域振興部会では新たな取り組みとして、1. USA公園への観光ルートの登山道を整備する事業や2. 軽トラ市のノウハウを習得し、宇佐駅周辺に「市」を立上げ、農業法人等の農産物を直販する。など。

また、交流部会では北馬城地区の史跡をめぐるウォーキングコースを設定してHP等に情報を載せ、観光客を呼び込み、まちの活性化を図る事業が新設された。



## 第3回北馬城の歴史を学ぶ会を6月25日開催

1. 日時 平成29年6月25日(日) 10:00~12:00
2. 場所 宇佐市東ふれあい館
3. 講師 宇佐神宮宝物館文化財研究委員 乙咩政巳先生
4. 学習内容 宇佐神宮と北馬城(仮題)

※宇佐神宮と関係の深い岩崎神社や宇佐神宮宮司の出光氏、などについて  
※乙咩先生は昭和50年に宇佐市役所文化財保存係に入庁後、文化財保存係一筋に宇佐の歴史について研究を続けてこられました。多くの方の出席をお待ちしております。

裏面へ

# 「まちづくり」の経験でラグビーW杯を牽引

北馬城まちづくり協議会総会において記念講演会で「まちづくりに思うこと」と題して大分県庁ラグビーワールドカップ推進室長・中村剛士氏による講演があった。

中村室長は東大修士課程を卒業後総務省の入り、高知県に配属になり、「地域おこし」に携わってから「やねだん」（鹿児島県鹿屋市串良町柳谷集落）の「行政に頼らない『むら』おこし」を知った。

「やねだん」では地域住民によるからいもの苗植えをし、できたイモで焼酎を作る。また、空き家を迎賓館として活用したりしている。キーワードは「子供」との事。北馬城も小学生が減ってきているので子供をキーワードであることに共感させられた。



## 指定文化財、名所史跡等に看板建植

北馬城地区には数多くの文化財や名所史跡等がありますが、説明文を記した看板が無かったり建っていても良く分からない箇所がかなり見受けられました。北馬城の観光資源を周知するため看板の建植をいたしました。



和気清麻呂船繋ぎ石



大雄寺身代り地蔵



国東塔矢印



国東塔矢印



国東塔看板



国東塔



金丸宝篋院塔

## 新協力隊員の麻生愛美さんを紹介します

麻生さんは今年から宇佐市観光まちづくり課コミュニティ係の地域おこし協力隊としてこの北馬城地区の担当隊員になりました。大学卒業後、湯布院などで接客やサービス業の仕事に携わってきたとのこと。

まちづくり協力隊としての活動には地元っ子としての視点と様々な場所に出た経験で培った視点の両方を生かしたいとのこと。また、2か月働いてみて、地域おこしの楽しさと難しさが徐々に見えてきた。その中で感じた地域おこしで大切な要素は「人の力」であり、一人一人の地域をよくしたいという思いが大きいほど活気が生まれ、地域が盛り上がるのだと思っている。地域の埋もれているその種を見つけ出し、育てていくような活動ができれば、と。任期は3年と短いので悔いの残らないような仕事をしていきたいとのこと。

笑顔がステキな愛美さんですがまちづくりにかける力強い言葉を聞き、いい協力隊員に恵まれたと期待を膨らませています。ご期待ください。写真は都合により掲載しませんので顔を見たい方は会議に出席すれば逢えますよ～。